

令和5年第1回八千代町議会定例会会議録（第5号）

令和5年3月16日（木曜日）午前9時23分開議

本日の出席議員

| 議長（5番） | 大里 岳史君 | 副議長（4番） | 増田 光利君 |
|--------|--------|---------|--------|
| 1番 | 谷中 理矩君 | 2番 | 関 眞幸君 |
| 3番 | 安田 忠司君 | 6番 | 廣瀬 賢一君 |
| 7番 | 上野 政男君 | 8番 | 中山 勝三君 |
| 9番 | 生井 和巳君 | 10番 | 大久保 武君 |
| 11番 | 水垣 正弘君 | 13番 | 宮本 直志君 |
| 14番 | 大久保敏夫君 | | |

本日の欠席議員

なし

説明のため出席をしたる者

| | | | |
|-----------------|--------|----------------------|--------|
| 町 長 | 野村 勇君 | 副 町 長 | 古宇田信一君 |
| 教 育 長 | 赤松 治君 | 会 計 管 理 者 | 富永 浩君 |
| 秘 書 公 室 長 | 宮本 克典君 | 総 務 部 長 | 大里 斉君 |
| 企画財政部長 | 馬場 俊明君 | 保健福祉部長 | 生井 好雄君 |
| 産業建設部長 | 鈴木 衛君 | 総 務 課 長 | 中川 貴志君 |
| 税 務 課 長 | 古沢 朗紀君 | まちづくり 推 進 課 長 | 斉藤 典弘君 |
| 財 務 課 長 | 倉持 浩幸君 | 福 祉 課 長 | 市村 隆男君 |
| 都市建設課長 | 宮本 正巳君 | 産 業 振 興 課 長 | 山崎 浩司君 |
| 上下水道課長 | 青木 譲君 | 農 業 委 員 会 事 務 局 長 | 諏訪 敦史君 |
| 教育次長兼 学校教育課長 | 小林 由実君 | 総 務 課 主 査 | 前野 晃一君 |
| 財 務 課 補 佐 | 山口富実子君 | | |

議会事務局の出席者

議会事務局長 川村 俊之 補 佐 菊 佐知子
主 査 山中 昌之

議長（大里岳史君） 引き続きご参集くださいます、誠にありがとうございます。

開議に先立ちまして、大里総務部長、宮本都市建設課長、富永会計管理者、川村議会事務局長より、本議場で退職の挨拶をしたい旨の申出がありましたので、これを許可します。

初めに、大里総務部長、登壇願います。

（総務部長 大里 斉君登壇）

総務部長（大里 斉君） 議長の許可をいただきましたので、退職に当たって一言ご挨拶をさせていただきます。

3月31日で、長年お世話になりました八千代町役場を定年退職することとなりました。議員の皆様には、公私にわたりご指導、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

私は、八千代町の職員として42年間、様々な仕事をさせていただきました。時には失敗ばかりで、辞めたくなるようなときもありました。私のような人間が、こうして定年まで勤務することができたのは、これまで出会った多くの方々の支えがあったからこそであり、本当にいい人たちに恵まれた役場人生であったと心から感謝をいたします。

これからは、恩返しのつもりで、微力ではありますが、地域の一員としてご協力をしていきたいと思っております。

最後になりますが、八千代町のますますの発展と皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、退職の挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。

（拍手）

議長（大里岳史君） 次に、宮本都市建設課長、登壇願います。

（都市建設課長 宮本正巳君登壇）

都市建設課長（宮本正巳君） ただいま議長の許可をいただきましたので、退職に当たりまして一言御礼のご挨拶を申し上げます。

私は、昭和62年4月に八千代町役場職員に採用されて以来、36年間にわたり勤めさせていただきました。その間、議員の皆様には、公私ともに多大なるご指導、ご鞭撻を賜

りまして、厚く御礼を申し上げます。

在職中には、たくさんの町民の方との関わりになることができて、新たな発見とたくさんの体験をさせていただいたことは、自分にとってはかけがえのない財産となっており、今後の人生において大いに役立っていくことと考えてございます。

最後になりますが、議員の皆様のみすますのご活躍とご健勝、そして野村町政による八千代町の変革とご発展をご祈念申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。(拍手)

議長（大里岳史君） 次に、富永会計管理者、登壇願います。

(会計管理者 富永 浩君登壇)

会計管理者（富永 浩君） ただいま議長の許可がありましたので、退職に当たり、ご挨拶申し上げます。

私は、今月末をもちまして定年退職いたします。38年間、町職員として勤務をさせていただき、誠にありがとうございました。これもひとえに議員の皆様方のご指導、ご支援のおかげでございます。厚く御礼申し上げます。

これからは、皆様からご指導いただきましたことを糧といたしまして、健康に留意し、生きてまいりたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、退職のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(拍手)

議長（大里岳史君） 次に、川村議会事務局長、登壇願います。

(議会事務局長 川村俊之君登壇)

議会事務局長（川村俊之君） ただいま議長より許可がありましたので、退職に当たりまして、一言お礼のご挨拶を申し上げたいと思います。

私は、平成2年に役場に入りまして、現在まで33年間勤めてまいりました。改めて振り返って見ますと、今から約20年ぐらい前でございますが、茨城県のほうに出向し、合併特例法の勉強をした後、当時の千代川村、石下町、下妻市との合併協議に事務局として関わったこと、八千代町は単独ということで、その後役場に戻りまして、一番最初の行財政集中改革プランの作成に関わったことなどが印象深く心に残ってございます。そして、最後に議会事務局長ということで、大里議長をはじめ議員の皆様からいろいろなアドバイスをいただきながら退職を迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいござ

います。

最後になります。議員の皆様のご健勝、そしてますますのご活躍をご祈念いたしまして、退職の挨拶にしたいと思います。長い間大変ありがとうございました。(拍手)
議長(大里岳史君) 長い間、大変お疲れさまでした。

ただいまの出席議員数は13名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(議長が了承を求めた議事日程は次のとおり)

議 事 日 程 (第5号)

令和5年3月16日(木) 午前9時開議

- 日程第1 議案第18号 令和5年度八千代町一般会計予算
議案第19号 令和5年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第20号 令和5年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第21号 令和5年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第22号 令和5年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第23号 令和5年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第24号 令和5年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第25号 令和5年度八千代町水道事業会計予算
(常任委員長報告、審議、採決)
- 日程第2 議案第26号 町道路線の廃止について
議案第27号 町道路線の認定について
- 日程第3 議案第28号 下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約の変更について
- 日程第4 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第5 議案第29号 副町長の選任につき同意を求めることについて
- 日程第6 議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- 日程第7 議 第1号 八千代町議会委員会条例の一部を改正する条例
- 日程第8 閉会中の継続調査の件

-
- 日程第1 議案第18号 令和5年度八千代町一般会計予算
議案第19号 令和5年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第20号 令和5年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第21号 令和5年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第22号 令和5年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第23号 令和5年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第24号 令和5年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第25号 令和5年度八千代町水道事業会計予算

議長（大里岳史君） 日程第1、議案第18号 令和5年度八千代町一般会計予算、議案第19号 令和5年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第20号 令和5年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第21号 令和5年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第22号 令和5年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第23号 令和5年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第24号 令和5年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第25号 令和5年度八千代町水道事業会計予算、以上8件を一括議題といたします。

本案につきましては、去る3月8日の本会議において、各常任委員会に付託してありますので、各常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

初めに、総務常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

大久保武総務委員長。

（総務常任委員長 大久保 武君登壇）

総務常任委員長（大久保 武君） ただいま議長の指名をいただきましたので、総務常任委員会の審査の経過と結果についてご報告いたします。

当委員会に付託されました案件は、議案第18号中、一般会計予算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費であります。

当委員会は、委員5名出席の下、去る3月9日午前9時から議員控室において、町執行部より関係部課長の出席を求め、それぞれ担当部課長から詳細に説明を受け、慎重に審議をいたしました。

その結果、当委員会に付託された内容については、全会一致で可決することに決定い

たしました。

以上ご報告申し上げましたが、何とぞ議員各位のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。報告といたします。

議長（大里岳史君） 次に、教育民生常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

大久保敏夫教育民生常任委員長。

（教育民生常任委員長 大久保敏夫君登壇）

教育民生常任委員長（大久保敏夫君） それでは、教育民生委員会の審議についてご報告申し上げます。ただいま議長のご指名をいただきましたので、教育民生委員会に付託されました案件の審査の経過と結果についてご報告いたします。

当委員会に付託されました案件は、議案第18号中、一般会計予算歳出の民生費、衛生費の一部、教育費及び議案第19号 国民健康保険特別会計予算、議案第20号 後期高齢者医療特別会計予算、議案第21号 介護保険特別会計予算であります。

当委員会は、委員5名出席の下、3月9日午前9時から役場4階大会議室において、教育長及び関係部課長の出席を求め、項目ごとに担当課長等から詳細に説明を受け、慎重に審議いたしました。

その結果、議案第18号中、一般会計予算歳出の民生費、衛生費の一部、教育費及び議案第19号、議案第20号、議案第21号のいずれも、全会一致で原案のとおり可決することに決定いたしました。

以上、教育民生常任委員会に付託されました案件の審査の経過と結果について申し上げますが、議員各位のご賛同を賜りますようお願いを申し上げます。報告といたします。

議長（大里岳史君） 次に、産業建設常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

水垣産業建設常任委員長。

（産業建設常任委員長 水垣正弘君登壇）

産業建設常任委員長（水垣正弘君） ただいま議長の指名がありましたので、産業建設常任委員会の審査の経過と結果についてご報告を申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、議案第18号中、一般会計予算の歳出の衛生費の一部、農林業費、商工費、土木費及び議案第22号 八千代中央土地区画整理事業特別会計

予算、議案第23号 八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第24号 八千代町下水道事業特別会計予算、議案第25号 八千代町水道事業会計予算であります。

当委員会は、3月10日午前9時から役場2階会議室2において、委員3名並びに町執行部より関係部課長の出席を求め、開催をいたしました。

今回の審査につきましては、担当課長から、予算書に基づき各項目の予算内容についての詳細な説明を受け、慎重に審議した結果、全員異議なく、原案のとおり決定することにいたしました。

以上、産業建設常任委員会の審査の経過と結果についてご報告を申し上げましたが、議員各位のご賛同を賜りますようお願いを申し上げまして、ご報告といたします。

議長（大里岳史君） 以上で常任委員長の報告を終わります。

これより委員長報告に対する質疑を許します。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 討論なしと認めます。

これから議案第18号 令和5年度八千代町一般会計予算から議案第25号 令和5年度八千代町水道事業会計予算まで8件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、議案第18号 令和5年度八千代町一般会計予算から議案第25号 令和5年度八千代町水道事業会計予算まで8件は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第26号 町道路線の廃止について

議案第27号 町道路線の認定について

議長（大里岳史君） 日程第2、議案第26号 町道路線の廃止について、議案第27号 町道路線の認定について、以上2件を一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

野村町長。

(町長 野村 勇君登壇)

町長(野村 勇君) ただいま一括上程されました議案第26号 町道路線の廃止について、議案第27号 町道路線の認定についての提案理由をご説明申し上げます。

最初に、町道路線の廃止についてから申し上げます。今回の廃止は、中結城地区県営畑地帯総合整備事業に伴い廃止するもので、廃止対象路線は菅谷地内の町道3031号線になります。

次に、町道路線の認定について申し上げます。今回の認定は、安静地区及び中結城地区の県営畑地帯総合整備事業と八千代中央土地区画整理事業に伴い認定するものです。

認定対象路線は、中結城地区県営畑地帯総合整備事業により整備された菅谷地内の町道3907号線、町道3908号線、町道3909号線、町道3910号線、町道3911号線、町道3912号線と八千代中央土地区画整理事業により整備された町道3913号線、町道3914号線、安静地区県営畑地帯総合整備事業により整備された芦ヶ谷地内の町道3915号線の計9路線になります。

以上、提案理由を申し上げましたが、ご審議の上、原案にご賛同くださるようお願い申し上げます。説明とさせていただきます。

議長(大里岳史君) これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(大里岳史君) 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(大里岳史君) 討論なしと認めます。

これから議案第26号 町道路線の廃止について、議案第27号 町道路線の認定について、2件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(大里岳史君) 異議なしと認めます。

よって、議案第26号 町道路線の廃止について、議案第27号 町道路線の認定について、2件は原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第28号 下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約の変更について
議長（大里岳史君） 日程第3、議案第28号 下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約の変更についてを議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

野村町長。

（町長 野村 勇君登壇）

町長（野村 勇君） ただいま上程されました議案第28号 下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約の変更についての提案理由をご説明申し上げます。

現在、下妻地方広域介護認定審査会の執務場所は、茨城県下妻市本城町2丁目22番地、下妻市役所内にありますが、下妻市の新庁舎建設に伴い、現庁舎の使用が令和5年4月30日までとなっております。このことから、下妻地方広域介護認定審査会の執務場所を茨城県下妻市本城町3丁目13番地へ変更するため、下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約を変更することについて協議したく、地方自治法第252条の7第2項の規定により本案を提案するものでございます。

以上、提案理由を申し上げましたが、ご審議の上、原案にご賛同くださるようお願い申し上げます。

議長（大里岳史君） これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 討論なしと認めます。

これから議案第28号 下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約の変更についてを採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、議案第28号 下妻地方広域介護認定審査会共同設置規約の変更については原案のとおり可決されました。

日程第4 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

議長（大里岳史君） 日程第4、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて、町長より申出がありましたので、議題といたします。

野村町長。

（町長 野村 勇君登壇）

町長（野村 勇君） 議長の許可がありましたので、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてご説明をさせていただきたいと思います。

人権擁護委員は、市町村長が候補者を推薦して、法務大臣が委嘱をいたします。市町村長が人権擁護委員の候補者を推薦することについては、人権擁護委員法第6条第3項により、議会の意見を聞いて候補者を推薦しなければならないとなっております。

当町の人権擁護委員は、現在、谷中悦子氏、生井勝巳氏、瀧名進氏、生井紀子氏、相田敏美氏の5名です。法第9条により任期は3年となっており、生井勝巳氏、瀧名進氏、生井紀子氏が令和5年6月30日をもって任期満了となります。今回任期満了となります生井勝巳氏、瀧名進氏の2名につきましては、実績もあり、人格識見高く、引き続き委員候補に推薦したいと思います。

生井紀子氏の後任といたしまして、小林あけ美氏推薦いたします。同氏におきましては、八千代町幼稚園教諭として44年間勤務され、幅広い視野と教育者としての豊富な知識を有しておられ、人格識見高く、人権擁護委員として適任であると考えます。

以上、提案理由を申し上げましたが、皆様のご意見を賜りたいと存じますので、よろしく願い申し上げます。

議長（大里岳史君） これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(大里岳史君) 討論なしと認めます。

本件につきましては、推薦人が適任であることを認めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(大里岳史君) 異議なしと認めます。

よって、本件は町長の申出のとおり、推薦人が適任であるとの意見を付して答申することに決定いたしました。

日程第5 議案第29号 副町長の選任につき同意を求めることについて

議長(大里岳史君) 日程第5、議案第29号 副町長の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

(総務課主査 前野晃一君朗読)

議長(大里岳史君) 本案について、提案理由の説明を求めます。

野村町長。

(町長 野村 勇君登壇)

町長(野村 勇君) ただいま上程されました議案第29号 副町長の選任につき同意を求めることについての提案理由をご説明させていただきたいと思っております。

現副町長の古宇田信一氏が令和5年3月31日で任期満了となることから、後任として八千代町大字若1291番地1、木瀬誠氏を副町長に選任したいので、地方自治法第162条の規定により議会の同意を求めるものであります。

今回提案いたしました木瀬誠氏は、昭和55年4月に下妻市役所に入庁後、職員として37年間勤務され、この間、総務部長、市民部長などを歴任されました。現在は、当町の社会教育指導員として、社会教育に関する指導、相談並びに関係団体の育成に当たられております。木瀬氏は、行政事務の知識、経験も豊富で、人望も厚く、高い識見と卓越した手腕の持ち主であり、町が抱える課題への取組や政策の実現に向け、副町長として適任者であると考え、議会の同意をいただきたく提案した次第でございます。

以上、提案理由を申し上げましたが、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださるようお願い申し上げます。

議長（大里岳史君） これから質疑を行います。

本案は人事案件でありますので、質疑の際には十分ご留意願います。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 討論なしと認めます。

ここで生井和巳議員より推薦の言葉について申出がありましたので、許可いたします。

9番、生井和巳議員。

（9番 生井和巳君登壇）

9番（生井和巳君） ただいま議長の許可がありましたので、地元を代表しまして副町長選任について推薦の言葉を申し上げます。

木瀬誠氏は、昭和55年に下妻市役所に奉職以来、37年間地方公務員として行財政に従事され、その間、総務部長、市民部長、経済建設部次長などの要職を歴任されております。これら実績のとおり、木瀬誠氏は極めて行財政事務の経験豊かな方で、高い識見と卓越した手腕の持ち主であります。また、実直で行動力がありますので、副町長として最適者であると考え、副町長に推薦いたしたく、議員各位の特段のご賛同をお願い申し上げ、地元を代表しまして推薦の言葉といたします。よろしく申し上げます。

議長（大里岳史君） これから議案第29号 副町長の選任につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本案は、これに同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、議案第29号 副町長の選任につき同意を求めることについては、同意することに決定いたしました。

ここで、八千代町議会先例にのっとり、副町長に選任することに同意いたしました木瀬誠さんをご紹介いたします。

木瀬誠さんの入場を許可します。

(木瀬 誠氏入場)

議長（大里岳史君） 木瀬誠さん、登壇願います。

(木瀬 誠氏登壇)

木瀬 誠氏 議長の許可がありましたので、一言ご挨拶申し上げます。

ただいまは副町長選任の議案について、全会一致でご賛同賜りまして誠にありがとうございました。大変名誉なことであると認識しております。私にとりましては、場所は違いますけれども、6年ぶりの議会本会議での登壇ということで、現在の心境は、また戻ってきたなというような大変感慨深いものがありますと同時に、両肩に大変な重圧を感じております。もとより浅学非才の身でありますがお引き受けした以上、全身全霊を込めて町の発展のために力を尽くす所存であります。

議員各位におかれましては、なお一層のご指導を賜りますことをお願いいたしまして、簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

議長（大里岳史君） 以上で木瀬誠さんの紹介を終わります。

木瀬誠さんは退場願います。

(木瀬 誠氏退場)

日程第6 議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること
について

議長（大里岳史君） 日程第6、議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてを議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

(総務課主査 前野晃一君朗読)

議長（大里岳史君） 本案について、提案理由の説明を求めます。

野村町長。

(町長 野村 勇君登壇)

町長（野村 勇君） ただいま上程されました議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについての提案理由をご説明させていただきたいと思っております。

教育長の任命につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、当

該地方公共団体の長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命することとなっております。

今回提案いたしましたのは、現教育長の赤松治氏が令和5年3月31日付をもって辞職することとなりますので、後任の教育長に関篤氏を任命いたしたく、提案するものであります。

関篤氏は、県教職員としての37年間の実績に加え、人格、識見ともに申し分なく、教育長として適任者であると考えますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意をいただきたく提案した次第でございます。

以上、提案理由を申し上げましたが、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださるようお願い申し上げます。

議長（大里岳史君） これから質疑を行います。

本案は人事案件でありますので、質疑の際は十分ご留意願います。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 討論なしと認めます。

ここで大久保武議員より推薦の言葉について申出がありましたので、許可いたします。10番、大久保武議員。

（10番 大久保 武君登壇）

10番（大久保 武君） ただいま上程されました議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについては、町長からの説明で、関篤氏は、人格、識見ともに高潔であり、教育長としての適正は申し分ないということでご提案をいただいたわけですが、私、地元議員を代表して推薦を申し上げたいと思います。

関篤氏は、八千代町新地行政区のご出身で、昭和61年3月に茨城大学教育学部を卒業後、同年4月に下館小学校教員に採用されました。県西地区内の小中学校教諭として勤務の経験を重ね、平成21年から3年間、児童健全育成者として茨城県筑西児童相談所に

勤務されました。その後、養蚕小学校教頭、結城小学校教頭を経て、平成29年から2年間、三和東中学校長を務められました。令和元年度には茨城県県西教育事務所学校教育課主任指導主事兼生徒指導班長を、令和2年度には教育事務所学校教育課課長の要職を務められました。令和3年4月からは結城南中学校校長として学校経営に当たられるとともに、結城市校長会幹事長、結城南中学校区新設校推進協議会副委員長、県校長会教育センター評議員としても学校教育の向上に精力的に取り組んでおられます。

以上のとおり、関篤氏は、人格、識見ともに立派な方で、教育行政にも精通しており、教育長として最適任と考えておりますので、私からのご推薦を申し上げ、推薦の言葉といたします。議員各位のご賛同をお願い申し上げます。

議長（大里岳史君） これから議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本案は、これに同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、議案第30号 八千代町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについては、同意することに決定いたしました。

ここで、八千代町議会先例にのっとり、教育長に任命することに同意いたしました関篤さんをご紹介いたします。

関篤さんの入場を許可します。

（関 篤氏入場）

議長（大里岳史君） 関篤さん、登壇願います。

（関 篤氏登壇）

関 篤氏 ただいまご紹介にあずかりました関篤でございます。

このたびは、私を教育長という立場にお選びいただきまして、誠にありがとうございます。赤松教育長が行った偉大なる業績や職責を一身に引き受ける立場となり、改めて教育長という重責を感じるとともに、身が引き締まる思いでございます。

私は、37年間、教職に就いてまいりました。その間、管理職として学校経営に携わり、また知事部局、県西教育事務所等で行政にも携わってまいりました。この間、多くの児童生徒たちから、たくさんを学び、そして同僚、先輩の先生方に育てていただきました。さらには、多くの保護者、そして地域の方々に支えられてここまでやってまいりました。

これは感謝の言葉以外に見当たりません。

今教育長という責任の重大さを思うとともに、私にそのような大任が務まるかと不安を感じているところではございますが、今後皆様方のお力添えをいただきながら、より広い視野に立って、八千代町のさらなる教育の充実、発展に誠心誠意努力していきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

議長（大里岳史君） 以上で関篤さんの紹介を終わります。

関篤さんは退場願います。

（関 篤氏退場）

日程第7 議第1号 八千代町議会委員会条例の一部を改正する条例

議長（大里岳史君） 日程第7、議第1号 八千代町議会委員会条例の一部を改正する条例を議題といたします。

本案につきましては、全員協議会において説明済みでありますので、朗読及び提案理由を省略し、直ちに質疑を行います。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 討論なしと認めます。

これから議第1号 八千代町議会委員会条例の一部を改正する条例を採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、議第1号 八千代町議会委員会条例の一部を改正する条例は、原案のとおり可決されました。

日程第8 閉会中の継続調査の件

議長（大里岳史君） 日程第8、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第75条の規定により、議会運営委員長から別紙のとおり報告がありましたので、委員長報告のとおり閉会中の継続調査と決定いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

議長（大里岳史君） 以上で本定例会に付議されました案件は全て議了いたしました。

（「議長、いいですか」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） はい。14番、大久保敏夫議員。

14番（大久保敏夫君） これで閉会になると思うのですが、人事案件の関係で私のほうからちょっと考え方を申し述べておきたいのですが、今、副町長、教育長の選任が行われて、推薦人の言葉も聞いたわけですが、推薦人に一度本人がお会いしてから、推薦人はここで推薦をするべきだと、そういうふうな流れをこれからつくっていただきたいと、こう思っています。本人に会ったことがないのに推薦をしなくてはならない立場というのも、つらいものですから、それだけはこれからの議会運営の中で議長にお取り計らいをお願いしたいと思います。

意見だけです。

議長（大里岳史君） 分かりました。

ここで、古宇田副町長、赤松教育長より、本議場での退任の挨拶をしたい旨がありましたので、これを許可します。

初めに、古宇田副町長、登壇願います。

（副町長 古宇田信一君登壇）

副町長（古宇田信一君） 貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。ただいま議長より許可をいただきましたので、副町長を退任するに当たりまして、皆様にお礼のご挨拶を申し上げたいと思います。

議員の皆様方には、4年間にわたりまして大変お世話になり、誠にありがとうございました。振り返りますと、県職員を退職しようとしていたときに、谷中元町長より声をかけていただきまして、八千代町に迎えていただきました。そして、それから1年数か月後には、その谷中町長が志半ばで、残念ながらお亡くなりになってしまいました。そ

の後を野村町長が引き継がれたわけですが、お二人の町長の補佐役として、4年間町政の一端を担わせていただきました。

4年間を顧みますと、大変短かったようにも感じますが、この間、谷中町長が亡くなられたことはもちろんですが、3年以上にわたる新型コロナウイルスへの対応をはじめとしまして、令和元年には関東、東北地方を襲った台風19号への対応、また八千代工業団地への企業誘致、最近では鳥インフルエンザへの対応など様々なことがございました。大変なこともございましたが、職員と懸命に対応してきましたことが、私にとって大きな財産であり、今後の人生の大きな糧になるものと考えてございます。

最後になりますが、これまでご支援、ご鞭撻を賜りました議員の皆様、改めて感謝申し上げますとともに、八千代町の今後のより一層の発展と皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。4年間誠にありがとうございました。(拍手)

議長（大里岳史君） 次に、赤松教育長、登壇願います。

(教育長 赤松 治君登壇)

教育長（赤松 治君） 議長より発言の許可をいただきましたので、議員の皆様へ一言御礼のご挨拶を申し上げます。

八千代町の教育長として6年と6か月を務めさせていただきました。今日まで務めることができたのは、ひとえにここにいらっしゃいます議員の皆様、野村町長さんをはじめ執行部の皆様、こういった方々のご支援のたまものと心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

また、私にとって、長い間学校教育に携わることができたことは、この上ない幸せに思っております。学校教育において、主体はあくまで子どもたちである。これは私のあらゆる判断の基準です。学校訪問でも先生方をお願いしてきました。学校は人を育て、人間を磨く場です。子どもたちのために何ができるか、何をすべきか、子どもたちが振り回されたり、不利益を被ることはあってはならないという思いは今も変わりません。

また、6年間で学校は大きく変わりました。エアコンの設置、GIGAスクール構想でのタブレットや電子黒板の導入、新型コロナウイルス対策、リモート学習、新しい学習環境やデジタル化も進みました。こういったことについても、議員の皆様方には様々な場面で支えていただきました。心から感謝申し上げます。

今後、さらに社会が目まぐるしく変化することが予想されます。「一年の計は田を耕す

にあり、十年の計は木を植えるにあり、そして百年の計は人を育てるにあり」という言葉がございます。これからの時代、何にも増して人材育成、教育が重要になります。急激な変化に柔軟に対応し、目の前にはだかる壁を自分で乗り越えることができる子どもたちを育てていくことが、学校の責務であると強く実感しております。

最後に、八千代町、そして八千代町議会のますますのご発展を心からご祈念申し上げ、お礼の挨拶といたします。長い間本当にありがとうございました。(拍手)

議長(大里岳史君) 古宇田副町長、赤松教育長、長い間大変お疲れさまでした。

次に、町長より挨拶したい旨の申出がありましたので、これを許可します。

野村町長。

(町長 野村 勇君登壇)

町長(野村 勇君) ただいま議長のお許しをいただきましたので、令和5年第1回八千代町議会定例会の閉会に当たり、ご挨拶をさせていただきますと思います。

議員の皆様におかれましては、7日の開会以来、10日間にわたり、令和5年度の総額150億7,118万円余りの予算のほか、諮問、追加議案を含む30件の重要案件について議いただきました。大変ありがとうございました。

開会中、円滑な議会運営をいただきました議長、議会運営委員会の委員長並びに委員の皆様、そして各議員の皆様、改めて感謝申し上げます。また、その間、各議案審議をはじめ特に常任委員会での当初予算、そして一般質問等における審議過程等の中でいただいた貴重なご意見、ご要望につきましては、これを真摯に受け止めまして、今後の町政運営に反映していきたいと、このように考えております。

ロシアによるウクライナ侵攻から1年が経過しましたが、情勢は長期化の様相を呈しております。その間、エネルギーや食料の供給制約などを背景に物価が高騰し、町民生活への影響が深刻になっております。

一方、新型コロナウイルス感染症につきましては、5月8日以降、2類から5類への対応引下げにより、新たな段階に入ることになりました。3年間で大幅に変化した私たちの生活、そして経済など、人口減少、少子高齢時代をたくましく生き抜くために英知を結集し、そして向き合うこととなってまいると、このように考えております。

令和4年度は、小学校全校の児童生徒用の椅子の更新、給食センターの一部民営委託、そして脱炭素社会実現への取組及び庁舎の防災機能強化のためのカーポート型太陽光発電の導入、ベトナム国ラックズオン県との友好都市提携協定など、各種施策や事業を進

めることができました。これもひとえに議員各位のご理解とご協力のたまものであると考えているところであります。

また、ふるさと納税につきましては、最終的には9億円を超える寄附を見込んでおります。これは、いみじくも先人が築いてくれた農業のおかげであると、このように考えております。八千代町の農業はもっともっと、さらに上を目指すポテンシャルを持っている、秘めている、私はこのように考えておりまして、先人に対しても感謝に堪えないところであります。

そして、4月からは、新たな組織体制、人事体制の中、全職員が一丸となって、社会変動に対応した、よりよい住民サービスの提供に努めてまいりたいと思います。議員の皆様におかれましても、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そしてまた、議員の皆様には、退任されます古宇田副町長、そして赤松教育長に対し、ご厚情賜りましたことにつきましても、行政の責任者といたしまして敬意を表するとともに、改めて感謝を申し上げさせていただきたいと思っております。

季節は、間もなく桜の時期となります。今年は大分早いようではありますが、気温の寒暖の差が激しい時期になってまいります。皆様におかれましては、体調管理に十分努めていただき、八千代町の発展のため、より一層のご活躍をいただきますようご祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

議長（大里岳史君） 閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

去る3月7日の開会以来、本日までの10日間にわたり、議員各位におかれましては、令和5年度予算をはじめ多くの重要案件を熱心に審議され、適切な議決を賜り、厚く御礼申し上げます。

町執行部の皆様には、令和5年度の予算執行に当たり、審議過程での様々な意見、質疑、要望等を十分反映し、町民の理解を得られる町政を進められるようお願いいたします。

結びに、皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げ、令和5年第1回八千代町議会定例会を閉会といたします。

(午前10時23分)

地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

議 長 大 里 岳 史

署 名 議 員 谷 中 理 矩

署 名 議 員 関 眞 幸